

<地場産農産物の加工・販売に取り組む事例>

○新たな地域資源を活用した集落活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮崎県 東 臼杵郡美郷町 上野原			
協定面積 62.5ha	田 (69%) 水稲、ナタネ	畑 (31%) トマト、きんかん	草地	採草放牧地
交付金額 9,309万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	遊休農地解消に向けた活動費（耕起、緑肥作物作付等） 農道・水路の草刈り、清掃等 集落営農組織運営経費 役員報酬、研修会費、その他		26% 12% 5% 7%
協定参加者	農業者 95人、15水利組合（構成員95人）			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

県北部中央に位置する上野原集落は、町内の他集落と比して、多くの農用地を有しているものの、高齢化の進行が深刻であり、将来にわたる地域農業の維持・継続に向け、平成12年度より本制度に取り組んでいる。

3. 取組の内容

取組の結果、集落内での話し合い活動が活発となり、地域農業を維持していくためには、組織的な対応が必要との声が大きくなった。本制度の活動をベースに集落営農に取り組もうとする機運が高まり、平成20年度に集落が目指すべき具体的目標を地域ビジョンとして策定し、これに基づき、集落営農組織が設立された。

集落営農組織においては、農作業委託の受け皿となるだけでなく、遊休地の解消と新たな収入源として搾油用ナタネの作付に取り組み、平成23年度からナタネ油の販売を開始し、併せてドレッシングの試作も手がけ、販売に向け取り組みを行っている。

また、平成21年度より、傾斜地の草管理と景観づくりを目的にヤギを導入しており、今後、近隣集落へのヤギのレンタル事業や山羊乳を原料としたアイスクリーム等新たな地域特産品の開発に取り組むこととしている。



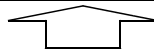
【集落内農地へのナタネ作付状況】



【新たに開発された地域特産品】

【集落の将来像】

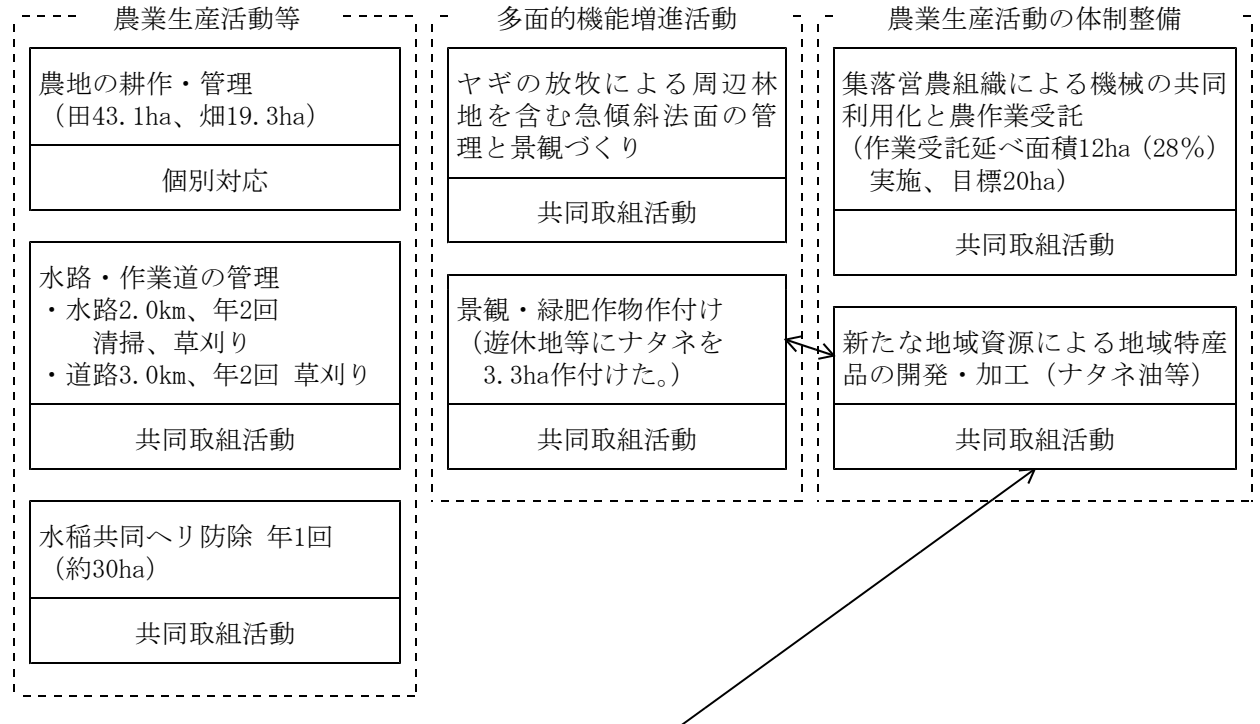
○集積対象者を核とした集落営農体制を整備し、自然に優しく、人の集う豊かな営農の実現を目指す。



【将来像を実現するための活動目標】

- 機械・農作業の共同化を図り、集落営農組織による農作業受委託を促進する。
- 景観・緑肥作物にとどまらず、収益作物の導入を図り、新たな特産品開発を行う。

【活動内容】



集落外との連携

○町内特産品のブランド力強化、情報の一元発信、販路拡大・強化を目的に設置された町農林産物直売所「美郷の蔵」と連携し、地域特産品の販売、集落情報の発信を行っている。

4. 今後の課題等

遊休農地の再生・発生防止に向け、集落営農組織による受託面積の増加、農地の流動化・面的集積を図り、農業所得の向上を目指すとともに、本制度の取組により生じた新たな地域資源（ナタネ、ヤギ）を活用し、都市住民との交流活動にも積極的に取り組むこととしている。

【第2期対策の主な成果】

- ・集落営農組織の運営体制の確立による農作業受託面積の増 (H17: 2.3ha、H21実績: 5.2ha)
- ・遊休農地の解消 (解消面積 H17:16a、H21: 56a)
- ・「菜の花まつり (H20～)」の開催による都市住民との交流促進